

# 水問題に関する協議会(幹事会)主催の 市民説明会における主な意見について

平成24年1月13日

水問題に関する協議会 第6回幹事会資料

# 説明会の開催結果

## 説明会の目的

これまで開催した幹事会の内容を説明し、直接市民の意見を聴き、これを踏まえて、協議を進めていくことを目的に開催

日 時	開催場所	参加人員	ご意見・質問数
8月20日(土) 13:30 ~ 16:47	<b>西条市</b> 西条市役所本庁本館 5階大会議室	約150名	項目 40
8月21日(日) 14:00 ~ 16:00	<b>松山市</b> 松山市男女共同参画 推進センター(コムズ)5 階会議室	約90名	23
8月22日(月) 13:30 ~ 15:50	<b>新居浜市</b> 新居浜市消防庁舎4 階コミュニティ防災センター	約60名	26
		約300名	89

## 説明会でいただいた主な意見等

### 水問題に関する協議会に関する意見等

1	<p><b>協議会の目的に「地域の発展に資する」ことを目的とするとあるが、その地域には松山市も入るのか。【松山・新居浜会場】</b></p> <p>県から、加茂川及び黒瀬ダムの水資源の有効活用を通じて3市が共に発展することを目的としている旨、回答。</p>
2	<p><b>西条の水を守ることを第一に考えると言うが、具体的には何をどのようにすれば西条の水を守ることになるのか。【松山会場】</b></p> <p>県から、これから4者で検討していこうということで、緒についたところであり、この説明会で市民の皆さんの意見もお聴きして、今後いろいろと検討していきたい旨、回答。</p>

## 説明会でいただいた主な意見等

### 水問題に関する協議会に関する意見等

3 西条市が協議会に参加するメリットはないと感じた。脱退する考えはないのか。【西条会場】

西条市から、この協議会は前提として「西条の水を守ることを第一に水利用を考える」との提案があって参加したもので、「西条の水を守るにはどういう方法があるのか、どういう提案があるのか」はこれから議論が始まると思っており、この協議会を活かして西条の水を守りたいと考えているので、今、脱退の考えはない旨、回答。

## 説明会でいただいた主な意見等

### 加茂川の水事情に関する意見等

#### 4 地下水位の低下や塩水化の進行から、将来の地下水に対する不安の声【西条会場】

(地下水位について)

県から、西条市では地下水の状況等を研究しており、地下水の状況が明らかになれば、これを踏まえ県と3市で検討し、対応できるのではないかと考えている旨、回答。

西条市から、市では地下水中心のまちづくりを行ってきており、今後行う。地下水の水位で、各家庭の生活用水に不安を与えないようにするためにはどうしたらいいかを考えている旨、回答。

(塩水化について)

西条市から、うちぬきに海水が混じるのは、地下水の陸側からの力と海水からの力のバランスが崩れ、陸側の涵養力が落ちたのかもしれない。市ではデータをとるようにしており、今後もいろいろな涵養策についても検討していく旨、回答。

## 説明会でいただいた主な意見等

### 松山市の不足水量や水源確保策等に関する意見等

5	<p><b>複数の水源確保策の組み合わせによる水源確保についての意見</b>( 複数の方策を選択して350億円から420億円の事業費の範囲で得られる水量はどうか) 【松山会場】</p> <p>松山市から、複数の方策を選択して350億円から420億円の事業費の範囲で得られる水量というものは出していないが、可能な限りそれぞれの方策で新たに確保できる水量や概算事業費などを出して、比較検討している旨、回答。</p>
6	<p><b>松山市の人口は平成27年をピークに減少する。松山分水は無駄な計画とは考えないのか。</b> 【西条会場】</p> <p>松山市から、現在新長期ビジョンである第6次総合計画を策定中であり、その中で人口予測等が示されるので、それに併せて長期的水需給計画を検証していきたい旨、回答。</p>

## 説明会でいただいた主な意見等

### 松山市の不足水量や水源確保策等に関する意見等

7	<p><b>不足水量4万8千立方メートルの算定について(一人当たりの使用量)【松山・新居浜会場】</b></p> <p>松山市から、目標年度である平成27年度の一人当たりの使用量を310リットルと試算したのは、核家族化や1世帯当たりの人員数の減などによって使用水量が増えることから、今後の家族構成の変化などを考慮した上で、将来の見込みを算定したものである旨、回答。</p>
8	<p><b>渇水期以外の4万8千立方メートルの扱いについて【西条・松山会場】</b></p> <p>松山市から、市としては、仮に分水が実現すれば、一日最大4万8千立方メートルの水利権を取得したいと考えているが、その場合でも、常に365日、日量4万8千立方メートル取水するわけではなく、必要な分だけを取水させていただくことになると考える旨、回答。</p>

## 説明会でいただいた主な意見等

### 松山市の不足水量や水源確保策等に関する意見等

9	<p>分水をした場合、松山市民に水利権が発生し、西条市民、特に地下水利用者に水利権がないという結果になると思うがどうか。 【西条会場】</p> <p>県から、地下水に水利権はなく、西条市の地下水利用者の方々にとっては、現状では水利権は認められていない。こうしたことも、今後この協議会で、水の利用を考えていく上で検討事項の一つになると考えている旨、回答。</p>
10	<p>松山市は「水利権が欲しい」と言っていたが、水を取るための計画では、水源はどこか。ダムから取って、谷川の水はとらないようにして欲しい。【西条会場】</p> <p>県から、今は「地元の水の使いみちをこれから考えましょう」と言っている段階であり、松山市は利用計画のない水があれば水利権が欲しいという希望は持っているが、この協議会(幹事会)では、そのことについて話し合っていない旨、回答。</p>

## 説明会でいただいた主な意見等

### 水源涵養に関する意見等

11

#### ダム上流域の森林整備の重要性を指摘する意見【新居浜会場】

県から、水源涵養のため、ダム上流域の森林整備の重要性は認識しており、森林環境税等を使って、県下の森林荒廃を防ぐための施策に取り組んでいる旨、回答。

松山市から、本市では、水源保全の観点から、水源涵養林を整備するための基金を積み、本市が利用する水源であれば、どこであろうと地元の希望を伺って実施できるようにしている。自分のところの水源となれば、地元のご理解を得て涵養林整備も行っていきたいとの考えを持っている旨、回答。